



啓示と聖書の大切さ

アルベルト神父

1962年10月11日から1965年12月8日までに開かれた第二バチカン公会議の公文書は4が「憲章」、3が「宣言」、9が「教令」になっています。

この公文書はキリスト教の基本的な主題に触れています。4の「憲章」の中で、一つの憲章は神の啓示に当てられました。これは『Dei Verbum(デイ・ヴェルブム)』です。日本語で『神の啓示に関する教義憲章』です。略して『啓示憲章』とされています。この『啓示憲章』はラテン語で Dei Verbum という言葉で始まるので『Dei Verbum』と呼ばれました。Dei Verbum は神の言葉と意味します。

第二バチカン公会議は『啓示憲章』を通して神の言葉、聖書、そのものが教会の生活の中に果たす重要な役割を賢明に明確に示しました。公文書の中で一番苦労した作成の経緯は『啓示憲章』でした。

『啓示憲章』の作成は、第二バチカン公会議の長期にわたる仕事でした。結局『啓示憲章』は1965年11月18日に

公布されて、第二バチカン公会議の公文書の中で最も作成された公文書の一つだとみなされて、第二バチカン公会議の傑作、第二バチカン公会議の神学的な建物の土台と入り口とも呼ばれていました。

第二バチカン公会議に配信され、『啓示憲章』によって明確にされた大きな問題は3つありました。

第1の問題は伝承と聖書の関係です。(『啓示憲章』第2章)。

第2の問題は聖書の歴史性です。(『啓示憲章』第3, 4, 5章)。

第3の問題は聖書の新しい親しさ。そして生活のためのインスピレーションと祈りの源として聖書に霊的なアプローチです。

既に第1章で啓示そのものについて語りながら『啓示憲章』は啓示が教えでも思想でもなく、人間の間に「存在の現れ」であることをはっきり見せてくださいます。

言い換えれば神の言葉は聖書ではなくて、イエス・キリストそのものであり、生きている個人的な存在の現実であるキ

リストの神秘です。ですから聖書は絶対的なものではなくて、わたしたちがキリストの出来事を迎えるよう、その出来事を生きるように作成されています。そういう意味で聖書そのものは啓示のすべての現実を含んでいません。(参照ヨハネ 21, 24～25)

しかし、聖書はとても大切です。なぜなら『啓示憲章』で書いてありますように「聖書を読むにあたっては、神と人間との会話ができるように、それに祈りを加えることを忘れてはならない。実際、われわれは祈る場合は、神に話しかけ、神の言葉を読む場合は、神の話を聞くのである」。

キリストの神秘は聖書をはるかに超えているが、聖書はキリストに達する不可欠な道です。聖書を読まない、聖書を知らない、聖書に親しまない方は、キリストに達することはできない方なのです。聖ヒエロニムスが述べたように「聖書を知らないことは、キリストを知らないことである」。聖書を祈る・読むことは神の言葉であるキリストそのものを味わうためです。

皆さんの協力で盛り上がりました



教会バザー

10月30日(日)に教会バザーが行われた。高校生、青年たちの出店も定着し全体が若々しく活気に満ちていた。そしてフィリピンの方々の出店も定着し、より華やかさを増してきた。準備から多くの作業をしてくださった皆様ご苦労様でした。

にぎわう中、2階の一室では会計係りの人たちが、維持費の集計をされていた。見えない所で、黙々と支え続けて下さっている方々にも感謝。

ネットワークミーティング in 世界平和記念聖堂 を終えて

青年会 KM

9月15・16日に幟町教会(世界平和記念聖堂)において全国から青年・青年の活動を支援している人たちが集まり、親交を深めいろいろな情報交換をする集まり、ネットワークミーティングが行われました。後援は、「カトリック

青年連絡協議会」(顧問司教=梅村昌弘(横浜教区))

今回のテーマは「Peace be with you の you って誰なんじゃろう」(ここで言う you とは平和の挨拶を交わす相手のことです)です。参加者は150名でした。

ヒロシマに初めて来た方もとても多く、分かち合いでは平和についての意見が多く出るなどとても意義のある集まりになりました。

このような全国の青年が集まる集会を、幟町教会を会場に行えたことは神父様・信徒の皆さんの協力があったからだと思っています。

本当にありがとうございました。



平和の使徒になろう

KA(東雲地区)

「平和の使徒になろう」というスローガンについて考えてみます。

「平和」と唱えるとき、中には次のように言われる方がいるかもしれません。

私は現在日常生活に困ってはいない。親子・兄弟・教会

の皆さんも仲良くしてくれるし、毎日平和に暮らしていますと。

そこで、改めて「平和」とは、戦争とか敵との争いが無い状態ということだと、考えてみましょう。

敵はどこにいますのでしょうか。そうです。「敵」は悪魔なのです。

「悪魔」は存在しないと人間に思いこませたら、悪魔の作戦勝ちだという話を聞いたことを思い出しました。悪魔は存在します。

「敵」の名前が分かれば、戦う方法も自ずと浮かんでまいり

ます。

悪魔の誘惑は多岐にわたり、一言では語りつくせません。目標を自分の心の中の「悪魔」と定めて黙想すれば、「悪魔」の仕業ではないかと思われる諸々の事象が浮かんできませんか。

「敵」の正体が判明すれば、そこで「平和」の使徒となって戦争を始めましょう。死んだ後に地獄に堕ちることがないように、必勝の戦いが始まります。

戦いに勝利して初めて平和が訪れます。

見学者からの感想紹介 (3) 聖堂を訪れ学びました

聖堂に平和学習のため見学に来た子どもたちの感想を
順次紹介しています

もう二度と戦争が起こらないでほしいという気持ちで、お祈りするためにこの聖堂が建てられたと聞きました。それだけでも素晴らしいことなのに、戦後 9 年間で建てられたと聞き、「こんなに広くて大きい建物がたった 9 年で…」とビックリしました。広島の人、それだけ世界が平和であってほしいと望んでいたからだと思います。「みんなの気持ちが集まれば、大きな物も作れる。がんばれば何とかできる」そんな気持ちや勇気を与える建物なんだなと思いました。私も話を聞いてから、建物を見ると、すごく勇気をもらいました。聖堂という場所は、気持ちが安らぐ皆さんの居場所なんだなと思いました。

岐阜県高山市立東山中学校 YF。

聖堂案内の人に「平和の種はみんなの心の中にある」ということを教えていただきました。そのみんなの平和の心が平和につながるということも教えていただいて、心に残りました。私はいつも妹とけんかをしています。ですが、教えていただいたことを思い出して、なるべく優しい心を持つようにしたり、引きさがったりするようになりました。

ラサールさんの建てた世界平和記念聖堂は、みんなに勇気を与えた建物だということも分かって、この聖堂をもっといろいろな人に伝えたいと思いました。そして、東日本大震災に遭っている人に祐貴を与えたいと思いました。

青崎小学校 6 年 YH

待降節 黙想会

テーマ「信仰年に私に託されたこと ～行って私と同じようにしなさい～」

12 月 2 日(日)

第1講話 9:30 ミサ～大聖堂

第2講話 13:00 マリアホール

指導 柴田潔神父様

(山口教会 イエズス会)

12 年間の会社勤めを経て、イエズス会に入会。

2010 年 9 月に司祭叙階。

東日本大震災被災地に派遣され活動。

12/1(土)18:30～神父様を囲む会を予定(参加自由)

死者の月に合わせて 葬儀の説明会を開催

春の合同ブロック会でのご希望にお応えして、「葬儀の説明会」を開きます。

委員会が発足し、皆様には「葬儀のしおり」をお配りしました。目を通していますか。しおりの最後のページへの記入はされましたか。「葬儀のしおり」が充分にご理解されているか、活用されているかーと思っております。

実際には「葬儀のしおり」が必要になる時ーもしもの時が

いつくるのか、誰にも分かりません。だからこそより良い準備をしていただきたいと願っています。

皆様のご質問やご要望にお応えするため、短い時間ですが ぜひこの機会にご参加ください。

日時:11 月 18 日(日) 11 時より

場所:多目的ホール

主催:典礼部レクイエム委員会



編集後記

もう直ぐ師走

早いもので、あと一カ月すると師走です。毎年、今ごろになると年賀状のことが気になり始める。気にしながらも、その時がやってきて、徹夜まがいでデザインしプリントする。そして反省する「来年こそは早く準備しておこう…」と。今年出来るだろうか?? (の)



11～12 月の行事予定

11/11(日)†年間第 32 主日

七五三の祝い(9:30 ミサ中)

日曜学校授業

ぶどうの会

高齢者の集い

11/15(木)アルベルト神父霊

名の祝日

11/16(金) 愛宮ラサール座

禅会 (19:00 地下聖堂)

11/17(土)日曜学校保護者家

族会(15:00)

11/18(日)†年間第 33 主日

聖書週間(～25)

子供とともに捧げるミサ

葬儀説明会

10 分間掃除

11/22(木) 祈りの集い

(18:30 地下聖堂)

11/25(日)†王であるキリスト

合同ブロック会

12/1(土)待降節黙想会

(～12/2)

12/2(日)†待降節第 1 主日

パイプオルガン定期演奏会

12/8(土)†無原罪の聖マリア

12/9(日)†待降節第 2 主日

教会掃除

高齢者の集い

日曜学校待降節黙想会

12/14(金) みことばの分か

ち合い

12/16(日)†待降節第 3 主日

日曜学校クリスマス会

12/20(木)祈りの集い (18:

30 地下聖堂)

12/21(金)愛宮ラサール座禅

会 (19:00 地下聖堂)

12/23(日)†待降節第 4 主日

高齢者の集い